

新潟県立がんセンター新潟病院 地域医療連携だより

NEWSLETTER



平成 30 年夏号

日本対がん協会会長 垣添忠生先生がご来院されました！

平成 30 年 4 月 13 日、公益社団法人 日本対がん協会会長の垣添忠生先生が全国のがんサバイバー支援の呼びかけを目的に開始された「全国縦断がんサバイバーWalk」のために当院を訪問されました。垣添先生は、総移動距離 3500 km を延べ 90 日間かけて歩き、全国がんセンター協議会加盟の 32 病院を訪問しておられます。訪問先では、できる限りサバイバーの方と会ってお話をされています。当院でも、乳がん患者会「あけぼの会」の方をはじめ、新潟県健康づくり財団や当院職員と懇談する機会を設けました。

国民の 2 人に 1 人はがんになる時代です。がんが身近な病気となった今、がんサバイバーの方に寄り添い、共に歩む姿勢を伝えたいと考えています。

4 月 13 日の垣添先生の一言ブログでも当レイナープラザの活動を掲載いただきました。興味のある方はのそいてみてください。

(記：地域連携・相談支援センター 田村恵美子)



基本理念

県民をはじめとする全ての患者さんに、最善のがん医療を提供します。

基本方針

1. 常に診療情報を開示して、患者さんとの信頼関係をもっとも大切にします。
2. がん診療連携拠点病院として、すべての医療機関と連携を密にします。
3. がんの研究を行うとともに、患者さんのための医療人の育成に努めます。
4. 病院運営の適正化と効率化に努めます。

contents

全国縦断がんサバイバーwalk について

腫瘍循環器内科の開設について

骨密度測定装置について

市民公開講座のご案内

がん治療と骨粗鬆症

漢方外来のご紹介



腫瘍循環器内科の開設について

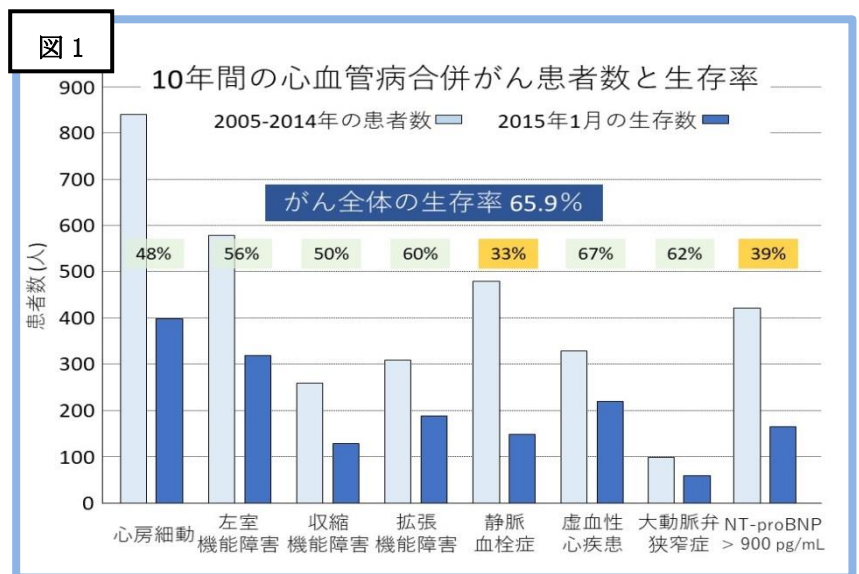
腫瘍循環器内科（循環器内科） 大倉裕二

がん患者の皆様、医療関係者の皆様に、腫瘍循環器科の開設をお知らせします。

生涯に2人に1人ががんに罹る時代です。自分自身や大切な人が治療を受けている方も多いのではないのでしょうか。治療の進歩により、がんが完治したり、完治しないまでも制御されつつあり、治療や経過観察を続ける時間が延びています。

最近の研究で、がん患者さんに循環器病が少なくないことがわかってきました。患者さんの高齢化や、生活習慣、抗がん剤の副作用などが循環器病の原因になっています。

当院の統計（図1）では、心房細動、血栓塞栓症、心不全が、がん患者さんに多い循環器病であることがわかっています。腫瘍循環器科では、がん患者さんに安心して治療を受けていただくために、看護師、薬剤師、放射線科技師、生理検査技師、医療クラークと協力して診療しています。



当院では、患者さんと主治医をサポートする仕組みが、日々整備されています。例えば、心電図はすぐに、他の検査や画像診断情報とともに専門医が統合・診断し、とるべき対応を主治医に伝えています。入院の際には、看護師から患者さんに肺塞栓症の説明が行われます。肺塞栓症は早期に発見すれば高い救命率が期待できますが、発見が遅れると危険です。患者さんに異常を伝えてもらい、患者さん→看護師→医師→診断・治療の救命の連鎖を円滑にしています。薬剤師は抗凝固薬の服薬指導にも力を入れています。循環器系の異常が起きた際には迅速に調査します。

一方で課題もあります。腫瘍循環器分野にはまだまだエビデンスが乏しく、データの収集と分析が急務となっています。がん登録室と協力してエビデンスの発信に努めます。がんサバイバーの長期的な健康管理も重要です。がん・老化研究で国内トップレベルにある新潟大学と連携を密にして、健康増進に貢献します。患者さんは県下や隣県からもおいでになります。がん治療後のフォローを患者さんのお住いの近くのクリニックにお願いすることも多いです。地域連携室の役割は重要です。安心して治療を続けていただけるように、クリニックの先生方と、腫瘍と循環器病の診療情報を共有し、ともに診療の質の向上に努めていきます。

平成 30 年は Onco-cardiology (Cardio-oncology) 元年になりました。腫瘍循環器学会が発足し、第 1 回学術集会が 11 月に開催されます。諸氏 (写真) とともに全国レベルの医療を地域の皆様にお届けできるよう邁進いたしますので宜しくお願いします。



写真 腫瘍循環器チーム医療に携わる諸氏 (医師、看護師、薬剤師、放射線科技師、生理検査技師、医療クラーク、がん登録室、新潟大学循環器内科尾崎准教授)

がん治療と骨粗鬆症

整形外科 小林宏人

〔はじめに〕

平均寿命が延びて、高齢化社会となりました。高齢化に伴い増加するのが、がん患者と骨粗鬆症患者です。がん患者の予後には内臓転移だけでなく、脊椎転移による麻痺や骨転移による病的骨折など骨関連 (有害) 事象 (SRE:skeletal related events) も関係します。また、骨粗鬆症による脊椎圧迫骨折や大腿骨頸部骨折も患者寿命や介護を必要としない健康寿命と関連します。がんによる低栄養や低活動性が骨粗鬆症をおこしますが、がん治療としてのステロイド投与やホルモン治療も骨粗鬆症の危険因子です。このようにがん治療と骨粗鬆症は同時に対応しなければならない問題です。当新潟県立がんセンターでも 2017 年 12 月から DEXA:dual Energy x-Ray Absorptiometry が導入され骨塩定量検査が可能となりましたので、骨粗鬆症とステロイド性骨粗鬆症を中心に話題を提供します。

骨粗鬆症とは

世界保健機関 (WHO:World Health Organization) の定義では「低骨量と骨組織の微細構造の異常を特徴とし、骨の脆弱 (ぜいじゃく) 性が増大し、骨折の危険性が増大する疾患である」と定義されています。

一般に「骨強度 = 骨密度 + 骨質」で表現され、およそ骨密度 7 割、骨質 3 割で骨強度を推定できるので、骨密度測定の意義があるわけです。

骨折危険因子

低骨密度、既存骨折、喫煙、飲酒、ステロイド治療、骨折家族歴、運動不足、生活習慣病などが骨折危険因子となります。

ステロイド性骨粗鬆症

骨形成低下と骨吸収亢進の両者が関与します。ステロイド薬は骨芽細胞や骨細胞のアポトーシスを促進して骨の寿命を短縮します。骨芽細胞の増殖抑制や骨の材料であるコラーゲン・非コラーゲン蛋白の産生を抑制します。幹細胞から骨芽細胞への分化に重要な転写因子を抑制して、骨芽細胞への分化を阻害し、脂肪細胞への分化や分化転換を促進します。ステロイド投与は経口プレドニゾン換算 5mg/日でリスクが発生し 7.5mg/日以上で高リスクとなるので、経口ステロイドを 3 か月以上使用中か使用予定では治療を考慮する必要があります。ステロイド開始後、骨量減少は初期数か月で 8~12%と高く、その後 2~4%/年となるとされており、早期からの介入が必要と思われます。

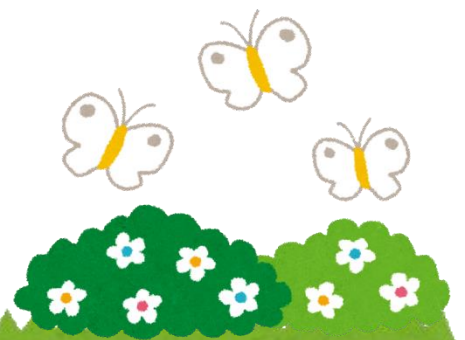
ステロイド性骨粗鬆症の治療

ビスホスホネート BP:bisphosphonate 製剤が第一選択ですが、投与前に口腔外科や歯科と連携して骨吸収抑制薬関連顎骨壊死 ARONJ:antiresortive agent-induced osteonecrosis of the jaw の危険因子がないか、逆流性食道炎の合併がないかなど、問診を行ないます。ビスホスホネートは吸収率が悪いので、経口薬では早朝水と同時服用後 30 分程度臥位にならずに食事を待機して生活できるか確認が必要で、投与後も非定型骨折（大腿骨転子下や骨幹部等）のチェックが必要です。ビスホスホネートが使用できないときは活性型ビタミンD3製剤などを用います。抗 RANKL:receptor activator of nuclear factor- κ B ligand 抗体も推奨度が高いです。テリパラチドや選択的エストロゲン受容体モジュレーター-SERM:selective estrogen receptor modulator も代替薬としての立場から、エビデンスの高い報告が増えれば推奨度が上がっていくことが予想されます。

【最後に】

骨塩定量検査の注意点を 2-3 点あげます。本法は骨粗鬆症の診断およびその経過観察のみに算定できるので、初回は「骨粗鬆症」か「骨粗鬆症の疑い」病名が必要です。2回目からは「骨粗鬆症」であり、検査間隔が初回から 5 か月以上経過している必要があります。椎体骨折または大腿骨近位部骨折がすでにある患者は骨粗鬆症なので、骨塩定量の意義は多くありません。椎体骨折・大腿骨近位部骨折以外の脆弱性骨折がある患者で、骨密度が若年成人平均 YAM:young adult mean の 80%未満は骨粗鬆症の診断となります。脆弱性骨折のない患者では骨密度が若年成人平均 YAM の 70%以下か-2.5 標準偏差 SD:standard deviation 以下であれば骨粗鬆症です。DEXA はX線撮影であり、大腿骨では人工骨頭が挿入されていたり他の内固定金属が入っていると撮影の障害となります。また、円背がひどく膝屈曲で仰臥位を保てない患者は腰椎撮影が困難です。以上のような注意点を気をつけて適応を決めることが大切です。

次ページは
骨密度測定装置の
ご紹介です。



がんセンター新潟病院 骨密度測定装置の導入

中央放射線部 渡辺里美

昨年12月にHologic社製Horizon X骨密度測定装置が導入されました。これまで当院では、CXD法で中手骨の骨塩定量を測定していましたが、この度導入した装置は、DXA (dual-energy X-ray absorptiometry) 法という2種類のエネルギーのX線を用いて、他の組織と骨内部に含まれるカルシウムなどのミネラル成分(骨塩)量とで区別して骨密度を測定するもので、従来の測定方法と比べ高い精度と再現性を有しています。

骨密度測定装置



また、この装置は、海綿骨微細構造の状態を表す指標である海綿骨スコア(TBS)をソフトウェアにより算出することが出来ます。TBSは、原発性骨粗鬆症における椎体骨折のリスク指標として有用性が注目されています。

検査時間は、腰椎・大腿骨の骨密度測定の場合、約10分程度かかり、検査台でじっと横になって頂いているだけで検査が出来ます。

骨密度の測定・解析結果は面積(cm^2)、骨塩量(g)、骨密度(g/cm^2)で表され、年齢ごとの平均値と比較参照できます。

なお、現在検査は、予約制で行っています(火曜を除く)。

骨密度測定結果

| | | | |
|-------|--------|-----------------|-------------------|
| 受診者番号 | 782147 | 新潟県立がんセンター新潟病院 | |
| 名前 | | 新潟市中央区川岸町2-15-3 | |
| 年齢・性別 | 歳・男性 | 生年月日 | TEL: 025-266-5111 |
| 測定検査日 | 2017 | 測定部位 | 腰椎 L1234 |
| 身長 | | 体重 | |

©2012 Reference Japan L1234 F-Tscore M-Zscore

◎今回測定結果
腰椎 L1234を測定しました

あなたの骨密度は
1.013 g/cm^2 です
若い人と比較した値は
102% 0.2SDです
同年代と比較した値は
108% 0.5SDです
骨面積: 55.577 cm^2 骨塩量: 56.311 g

骨密度判定 **異常なし**
コメント 今回の検査で、あなたの骨密度は、若い成人の平均値と比較した場合、標準値以上で問題ありません。また、同年代の人に比べても標準値以上といえます。これからもバランスのよい食事や適度な運動を心がけましょう。定期的に検査を受けて下さい。(002)

印刷日 2017年 Ver. 2.14

骨密度が一目で
分かります!



がんセンター新潟病院 漢方外来のご紹介



麻酔科 渋江智栄子

漢方治療に興味がある、漢方治療を受けてみたいという患者さんは少なからずいらっしゃいます。でも、どこの病院に行けばよいのかわからない、漢方で有名なクリニックはなかなか予約がとれない、漢方薬局で処方してもらえぬが保険が効かないので保険で漢方治療を行いたいなどの声を耳にします。がんセンター新潟病院でも漢方専門医による漢方診療を行っていることをまだご存じでない方がほとんどかと存じます。今回、ご紹介させていただく機会を頂戴いたしました。

関東地方のがん拠点病院には、漢方でがん治療のサポートを行う漢方サポート外来を行っている病院がいくつかあります。新潟県内には漢方内科で診療実績をあげている木戸クリニックがあり、日本東洋医学会漢方指導医の須永隆夫先生が漢方治療を精力的に行っております。そこにはがんサバイバーの方も遠方から数多く通院してこられますが、新規の予約は数ヶ月待ちといった状況にあります。私は須永先生に師事し研修を4年間にわたり積み重ね、昨年漢方専門医を取得させていただきました。新潟県内の漢方専門医は平成30年現在23名と数少なく開業されている内科系の先生が中心です。国内全体の漢方専門医数は2150名ほどいますが、新潟県全体の漢方専門医はまだまだ少なく漢方治療を受けられる医療機関も限られています。漢方薬は医師であれば誰でも処方できるのが日本の医療の良いところではありますが、種類も多く証に応じた治療は難解な点も多いので、病名投与で処方されている先生がほとんどかと思われます。若い先生方は学生時代に漢方薬の授業を受けておりますが、指導医が漢方薬になじみがないとなかなか臨床の場で使用してみる機会は少ないかもしれません。臨床経験を重ねていくうち西洋医学でうまくいかない症例が漢方薬で良い方向に向かい、ふとしたきっかけで漢方にのめりこんでいく先生方もいらっしゃいます。

私は麻酔専門医でもありますので手術の患者さんの麻酔周術期管理を日々行っています。術前の診察の中で、漢方治療が適切であると判断すれば患者さんごとに合った適切な漢方薬内服をご提案させていただいています。ただ院内採用の漢方薬の種類には限りがありますため、必要な際は薬剤部と連携して院内でも処方できるように調整させていただいています。

麻酔科の外来はペインクリニック、術前外来などにわかれており、漢方治療は火曜日以外の毎朝8時30分～9時まで診療しております。朝が早く診療時間が短時間ですので、特に冬には患者さんにご負担をおかけしてしまうことが大変心苦しい次第です。利点としては時間帯が早いため外来の駐車場も病院の受付も比較的すいており待ち時間が少ないのでありがたいといわれます。そのあとに他科受診を掛け持ちされる患者さんも大変多くいらっしゃいます。

診療内容は望診、舌診、脈診、腹診と患者様に触れながらきめ細かな診察を行い東洋医学でいう証に基づいた漢方薬の処方を行っております。腹診をたいへん気に入られ腹診目当てで毎月通われている患者さんもいらっしゃいます。漢方薬は便宜性からエキス製剤がほとんどですが、刻み生薬を用いた煎じ薬の処方も可能です。煎じ薬の調剤薬局のご紹介も可能です。そのほか痛み部位に応じた痛くない円皮鍼



治療や、須永先生直伝の操体法の動きや腹式呼吸法、食事内容を含めた養生についてもご指導させていただくため新患の場合は 30 分程度診察時間をいただいております。

漢方治療の対象は痛み治療だけではなく、冷え性、更年期障害、頭痛、めまい、嘔気、食欲不振、疲労感、便秘症、眠れない、元気がでない、咽頭の違和感などの多岐にわたった症状を対象にしております。がん治療のサポートとしても漢方治療はお役にたてるかと思えます。当院の職員も気軽に漢方治療を行っております。西洋医学にはない視点で診断治療をおこないますので、今行っている西洋薬との併用はもちろん可能です。気になる症状があって検査では異常がないのだけど・・・など不定愁訴のある患者さんなどもお気軽にご紹介をお待ち申し上げます。

(診療案内：月・水・木・金 8:30~9:00 麻酔科 担当 洪江)

市民公開講座 開催のお知らせ

県民の皆様にご覧について正しい知識をお伝えするために、毎年開催させて頂いております市民公開講座も今年で 22 回目を迎えます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

新潟県立がんセンター新潟病院 がん予防総合センター開設 20 周年記念 第 22 回 市民公開講座のご案内

日時：平成 30 年 9 月 8 日 (土) 13:30~16:10

会場：だいしホール (新潟市中央区東堀前 7 番町)

演題

○基調講演

演題：「がん予防総合センターの 20 年を振り返って」

演者：成澤林太郎 医師 (がん予防総合センター長)

○リレー講義

テーマ：「検診を受ける・受けないで何が違うの？」

○質問コーナー

テーマ：「がん検診・がん診療に関する Q&A」

○特別講演

演題：「健診・検診は、自分を知るおおきなチャンス」

演者：加藤公則 医師 (新潟大学大学院医歯学総合研究科

生活習慣病予防検査医学講座 特任教授)



新潟県立がんセンター新潟病院 平成30年8月外来診療予定表

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|------------------------------|------------------------|-----------------|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 内科 (金曜Cは新潟大学より) | 401診 | D 張 高明 | A 成澤 林太郎 | D 廣瀬 貴之 | D 栗原 太郎 | B 小山 建一 |
| | 402診 | C 大倉 裕二 | D 今井 洋介 | C 大倉 裕二 | D 石黒 卓朗 | D 今井 洋介 |
| | 501診 | | F 谷 長行 | F 谷 長行 | | F 谷 長行 |
| | 502診 | A 青柳 智也 | E 大山 泰郎 | A 小林 正明 | E 大山 泰郎 | B 三浦 理 |
| | 601診 | B 田中 洋史 | A 栗田 聡(隔週) | B 三浦 理 | A 栗田 聡 | B 田中 洋史 |
| | 602診 | A 塩路 和彦 | A 井上 良介 | A 佐々木 俊哉 | A 塩路 和彦 | C 高山 亜美(午前) C 尾崎 和幸(午後) |
| | 201診 | B 呼吸器内科医師 | | B 梶原 大季 | | B 馬場 順子 |
| | 新患 (医師2名 隔週交替) ↓*参照 | A 成澤 林太郎 | B 小山 建一 | B 田中 洋史 | C 大倉 裕二 | A 塩路 和彦 |
| | | F 谷 長行 | D 石黒 卓朗 | D 今井 洋介 | D 廣瀬 貴之 | B 梶原 大季 |
| | | A 佐々木 俊哉 | A 青柳 智也 | A 井上 良介 | A 小林 正明 | A 栗田 聡 |
| | B 三浦 理 | D 栗原 太郎 | E 大山 泰郎 | B 馬場 順子 | D 張 高明 | |
| *新患は2名の医師が担当します。当日の担当医については内科外来にお問い合わせください。 | | | | | | |
| A: 消化器 B: 呼吸器 C: 循環器 D: 血液 E: 内分泌 F: 糖尿病 | | | | | | |
| 小児科 | 1 診 | 小川 淳 | 渡辺 輝浩 | 阿部 咲子 | 小川 淳 | 渡辺 輝浩 |
| | 2 診 | | 第3週専門外来(14:00~) | 第3週甲状腺外来 | 専門外来(11:00~ 1週は移植外来) | 阿部 咲子 |
| *新患は紹介状が必要です。 | | | | | | |
| 乳腺外科 消化器外科 | 1 診 | 長谷川 美樹(乳腺) | 藪崎 裕(胃) | 野村 達也(肝胆膵) | 中川 悟(食道・胃) | 瀧井 康公(大腸) |
| | 2 診 | 金子 耕司(乳腺) | 松木 淳(胃) | 瀧井 康公(大腸) | 番場 竹生(食道・胃) | 丸山 聡(大腸) |
| | 3 診 | 遠藤 麻巴子(乳腺) | 會澤 雅樹(胃) | 神林 智寿子(乳腺) | 角田 知行 | 野上 仁(大腸) |
| | 4 診 | | 林 裕樹 | 高野 可赴(肝胆膵) | | 渡辺/井田/山田 |
| | 予防センター-乳腺 | | 金子 耕司 | 長谷川 美樹 | 神林 智寿子 | 神林 智寿子 |
| *乳腺外科は原則予約制です。 | | | | | | |
| 呼吸器 外科 | 1 診 | 吉谷 克雄 | 青木 正 | 岡田 英 (~AM10時まで) | 青木 正 (~AM10時まで) | 吉谷 克雄 |
| | 2 診 | | 岡田 英 | | | 岡田 英 |
| 整形外科 | 新患 | 吉谷 克雄 | | 吉谷 克雄 (AM10時~) | 吉谷 克雄 (AM10時~) | 吉谷 克雄 |
| | 新患 | 骨転移外来 島野/佐々木 [隔週交替] | 島野 宏史 | 小林 宏人 | 佐々木 太郎 | 酒井 瑛平 |
| | 再来 | 小林 宏人 | 佐々木 太郎 | | 島野 宏史 | 小林 宏人 |
| *完全紹介制です。 | | | | | | |
| 神経内科 (新潟大学より) | | 茂木 崇秀 | | 二宮 格 | | |
| 精神科 (午前のみ) | | | 小林 真理 | | 小林 真理 | 小林 真理 |
| *当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。完全紹介制・完全予約制です。 | | | | | | |
| 脳神経外科 | 1 診 | 高橋 英明 | | 五十川 瑞穂 | 高橋 英明 | 五十川 瑞穂 |
| | 2 診 | 五十川 瑞穂 | | 高橋 英明 | 五十川 瑞穂 | 高橋 英明 |
| | 3 診 | | | | | 宇塚 岳夫 (4週の午後) |
| 婦人科 | 1 診 | 横尾 朋和 | 菊池 朗(午前) | 菊池 朗 | 横尾 朋和 | 吉田(1,3,5週) 横尾(2週) 菊池(4週) |
| | 2 診 | 吉田 邦彦 | 木谷 洋平 | 吉田 邦彦 | 菊池 朗(予約のみ) | 木谷 洋平 |
| | 3 診 | | 笹川 基(午前) | 遺伝性乳がん 卵巣がん外来 (大学・西野) | 遺伝性乳がん 卵巣がん外来 (大学・須田) | |
| 皮膚科 | 1 診 (主に新患) | 高塚 純子 | 結城 大介 | 竹之内 辰也 | 竹本 景太 | 高塚(1,3,5週) 結城(2,4週) |
| | 2 診 (主に再来) | 結城 大介 | 竹之内 辰也 | 結城(1,3,5週) 高塚(2,4週) | 高塚 純子 | 竹之内 辰也 |
| | 3 診 | 竹本 景太 | 竹本 景太 | 竹本 景太 | 結城 大介 | 竹本 景太 |
| 泌尿器科 | 1 診 | 谷川 俊貴 | 乾 幸平 | 斎藤 俊弘 | 斎藤 俊弘 | 谷川 俊貴 |
| | 2 診 | 小林 和博 | 山口 峻介 | 小林 和博 | 山口 峻介 | 乾 幸平 |
| *新患は紹介状が必要です。 | | | | | | |
| 眼科 | 1 診 | 原 浩昭 | 原 浩昭 | 原 浩昭 | 原 浩昭 | 原 浩昭 |
| | 2 診 | | | 佐藤 敬子(午前) | 佐藤 敬子(午前) | 佐藤 敬子(午前) |
| 頭頸部外科 | 1 診 | 佐藤 雄一郎(再来) | 富樫 孝文(新患) | | 佐藤 雄一郎(新患) | 倉橋 崇史(新患AM) |
| | 2 診 | 高橋 剛史(新患) | 高橋 剛史(再来) | | 富樫 孝文(再来) | |
| | 3 診 | 富樫 孝文 | 倉橋 崇史 | | 高橋 剛史 | |
| 放射線 治療科 | 1 診 | 杉田 公 | 杉田 公 | 杉田 公 | 杉田 公 | 杉田 公 |
| | 2 診 | 松本 康男 | 松本 康男 | 松本 康男 | 松本 康男 | 松本 康男 |
| | 3 診 | 鮎川/金本 | 鮎川/金本 | 鮎川/金本 | 鮎川/金本 | 鮎川/金本 |
| *木曜日・金曜日は新患の対応ができない場合があります。 | | | | | | |
| 麻酔科 | 1 診 | 富田 美佐緒 | 丸山 洋一 | 富田 美佐緒 | 富田 美佐緒 | 渋江 智栄子 |
| | 2 診 | 渋江 智栄子 | 富田 美佐緒 | 渋江 智栄子 | 渋江 智栄子 | 高松 美砂子 |
| 術前 | | 阿部 崇 | 阿部 崇 | 阿部 崇 | 阿部 崇 | 阿部 崇 |
| 形成外科 | | 2,4週 13~14時(再来) | | 坂村 律生 | 坂村 律生 | |
| 緩和ケア科 | 午前/午後 | 本間 英之 | 中島真人 | 本間 英之 | 中島真人 | 本間 英之 |
| *当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。 | | | | | | |
| *原則新患1日2名になります。新患依頼は外来へお問い合わせください。 | | | | | | |
| 歯科口腔外科 (日本歯科大学より) | | 午前/午後 | 午前/午後 | 午前/午後 | 午前/午後 | 午前/午後 |
| *当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。 | | | | | | |

新潟県立がんセンター新潟病院 地域連携・相談支援センター(地域連携部門)

TEL:025-234-0011 FAX:025-234-0022 受付時間 月~金 8:30~19:00

がんセンター新潟病院 URL: <http://www.niigata-cc.jp>

原則として予約日当日に行える検査はCT、腹部超音波、MRI、食道・胃・十二指腸内視鏡、PET-CT

時間外のFAXについては、平日夜は翌朝、金曜夜から日曜は月曜の朝にお返事申し上げます